



日本歯内療法学会関東甲信越静支部主催

デモコース研修会のご案内

**講師 小林千尋先生**

日時 平成 23 年 12 月 7 日水曜日 19:00~21:00 (18:30 受付開始)

会場 神奈川県歯科医師会館 501研修室 横浜市中区住吉町 6-68 TEL. 045-681-2172

### 感染根管治療は何故治らないか そしてその解決策

CTを歯科にも応用するようになって、今までより多くの根尖病変が見つかるようになってきた。それに伴い、感染根管治療の成功率も下方修正されつつある。実際には、あまり治ってなかったということである。

感染根管治療の治癒不全の原因は、根尖部に残存する細菌である。術後疼痛の発生を恐れるあまり、根管形成は手前で止め、根管充填もそこまでというような治療がよいと教育されてきた。そのような治療は、根尖部根管に細菌塊を作ってしまう。

根管内の細菌を除去するためには、ヒポクロリットによる根管洗浄が必須である。ヒポクロリットで安全に根尖部を根管洗浄するためには、根管は必要かつ十分な太さ・テーパーに根管形成されていなくてはならない。根管内に残った細菌を全て死滅させることは、根管貼薬では期待できない。水酸化カルシウムは、E. Faecalis を殺すことができない。

根管洗浄において、根尖部近くで吸引する根管吸引洗浄法が、最も効率的に根管内の細菌数を低下させることができる。演者は、この方法をさらに発展させた超音波吸引洗浄法を開発した。この方法でよく洗浄すると、側枝までよく根管充填でき、術後のフレアアップの発生もなく、症状の消失・根尖病変の治癒速度も速い。

演者がCTを用いて精査した結果、側方加圧根管充填法では、根尖部に空隙を残しやすいことが明らかになった。それらの隙間は、そこで細菌を繁殖させることになるので大変危険である。根尖部の根管は吸収されにくい材料を用いて、垂直加圧根管充填されるべきである。そうしないと、残った細菌を埋入 (entomb) することに失敗する。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学系歯髄生物学分野助教授

**《研修会参加費：8,000 円》 日本歯内療法学会会員以外でも参加できます。**

日本歯内療法学会認定医・認定指導医の申請・更新ポイント。日本歯科医師会生涯研修事業加算となります。

\*この機会に日本歯内療法学会に入会される方は、参加費が免除されます。

(入会金 5,000 円、年会費 12,000 円、合計金額 17,000 円)

申込方法：下記へご記入の上、FAX して下さい。

**参加申込先 FAX 046-264-7906 山口歯科クリニック内**

参加費は、当日受付支払いとなります。[定員は 50 名までとなります。]

ご芳名	ご住所 〒  電話番号
-----	-------------------